

平成24年2月23日

# 南の風

南部ミニバスケットボール連盟  
会長 藤原 敬一

平成23年度の全国大会予選が終わりました。六浦南チームは準決勝で惜しくも（延長戦で）敗れましたが、最後まで全力で戦った選手の健闘を心から称えたいと思います。他にも、女子のサンライズ、男子の磯子、石川チームの健闘もたいへん光りました。全国予選の県大会は、男子がK.Oキングス、女子は川北が優勝し全国大会出場を決めました。全国大会では神奈川県代表として頑張ってくれるものと期待しています。

次に、南部連盟の冬季大会が、先日1月29日（日）に行われました。6年生にとっては、小学校生活最後の公式戦となりました。男子は磯子チームが優勝しました。敗れましたが、六浦南チームの善勝が光ったゲームでした。また、女子の準決勝では、藤の木チームが六浦南チームに接戦の末見事競り勝ちました。優勝は洋光台チームが飾り、平成23年度の本大会の幕を閉じました。今年の洋光台チームの女子は、年間を通してたくさんの対外試合（県外も含めて）をこなし、攻守共にすばらしい戦いを繰り広げました。惜しくも関東大会は逃しましたが、最後の冬季大会で有終の美を飾ることができよかったと思います。

2月からは、新人戦が始まっています。6年生が抜けチーム構成が変わり、人数の確保にたいへんなチームもあると思いますが、各チームで努力していただき、選手の確保をお願いすると共に熱い戦いを期待しています。

また、この時期はインフルエンザが猛威を振るう季節でもあります。それぞれのチームで体調管理を十分していただいて、新人戦が無事に行われますようにお願いします。

さて、最近何人かの指導者の方から「ディフェンスはどう指導したらいいのでしょうか？」という声を聞きました。また、「やっぱりマンツーマンなのですか」「最初からゾーンはどうなんでしょうか」という声も聞きます。

私の考えを述べます。まず大切なことは、ねらい（目的）をどこにおいて教えるのかということです。例えば、これからの新チームに一年間かけてディフェンスを教えていくのであれば、マンツーマンを基礎から教えた方がいいです。しかし、ある程度勝たせないと先が見えないと考えるのであれば、とりあえずゾーンで小さく守り相手のミスを誘い、オフェンスに力を入れて練習するという方法もあります。絶対にマンツーマンでなければならぬということはないと思います。ただゾーンを指導する時にノーマルゾーンにするか、マッチアップ気味にするのかは、はっきりした方がよいでしょう。ノーマルゾーンでは、全員がボールを中心にディフェンスすることになります。したがって、ポストプレー（ポストへのパスなど）やドライブに対してトライアングルで対応していくことになります。一方マッチアップの場合は、人とボールをいっしょにみながら、基本的に自分のエリアはマンツーマンになります。初心者にはマッチアップ（完全なものでなくてもよい）の方がわかり安いかもしれません。チームの実態に合わせてやって見てください。